

いそぎ

# 議会だより

第108号  
2020 令和2年7月28日



## 6月定例会

### もくじ

6月定例会	2
4月臨時会	4
小学生議会見学	5
議会のうごき	5
全員協議会	6
一般質問(5人が町政をただす)	8
議会モニター意見交換会	14

コロナがおさまりますように

議会だより  
QRコード



新型コロナ  
ウイルス対策

# 町民支援へ経済活性化強化対策!!

特別商品券 2,395万円

## 6月定例会で決まった補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第2号)(専決)	520万円	38億2,375万円
一 般 会 計 (第3号)(専決)	1,427万円	38億3,802万円
一 般 会 計 (第4号)	5,316万円	38億9,119万円
特別会計		
国民健康保険事業 (第1号)	154万円	5億 594万円
農業集落排水事業 (第1号)	2,400万円	1億4,680万円

※金額は千円未満は切り捨て

### 一般会計補正予算 (第4号) ▲は減額

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> <li>国庫支出金.....5,635万円</li> <li>繰入金.....▲1,058万円</li> <li>諸収入.....250万円</li> <li>町債.....480万円</li> <li>寄附金.....23万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニ交付システム構築業務委託料.....660万円</li> <li>町持ち帰等利用促進料支援金追加.....500万円</li> <li>特別商品券利用事業交付金.....2,395万円</li> <li>町「学びの継続」応援支援金.....500万円</li> <li>小・中学校内LAN電源キャビネット整備工事請負費.....660万円</li> </ul>

### 農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> <li>国庫支出金 (交付金追加) .....1,000万円</li> <li>繰入金 (一般追加) .....191万円</li> <li>繰越金 (前年度) .....208万円</li> <li>町債 (追加) .....1,000万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出雲崎地区</li> <li>施設機能強化対策工事請負費.....2,200万円</li> <li>施設維持修繕工事請負費.....200万円</li> </ul>

### 町長専決処分

町税条例等の一部改正  
地方税法等の一部改正によるもの (起立全員で可決)

町一般会計補正予算 (第2号及び第3号)  
第2号は不織布マスクを全町1戸に1箱配布 (起立全員で可決)

第3号は新型コロナウイルス感染症に関する支援事業で、町ひとり親家庭等応援支援金・子育て世帯への臨時特別給付金・町持ち帰り等利用促進支援金について (起立全員で可決)

### 人事案件

出雲崎町農業委員会委員の任命に同意 (6月定例会)

- 岡田 美由紀氏 (再任・松本)
- 森山 一郎氏 (同上・立石)
- 佐藤 一也氏 (同上・稲川)
- 内藤 仁氏 (同上・久田)
- 諸橋 清隆氏 (新任・柿木)

## 補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

6月19日

ふるさと交流広場整備工事追加 155.1万円

小黒議員 追加の内容について

総務課長 4月の全員協議会で説明した内容のとおりでドアの変更及び広場の舗装工事。



ふるさと交流広場完成イメージ図

保健福祉総合センター管理費施設修繕料追加及び児童福祉施設費の施設修繕料追加 63.8万円

中川議員 追加の内容について

保健福祉課長 ふれあいの里を避難所に指定し、不具合を修繕、児童福祉施設の修繕料追加は、川西遊園地の遊具2ヶ所を取り替える。

特別職給料減(町長) ▲64.9万円

加藤議員 このお金は、国庫に入るのか。

総務課長 町から支給されるので入らない。

教育振興費の部活動指導員報酬追加 50.3万円

高桑議員 追加の内容について

教育課長 音楽の非常勤講師から吹奏楽部の指導員をしよう。

体育施設費の施設修繕料追加 38.0万円

安達議員 グランドゴルフ修繕内容について

教育課長 屋内ゲートボール場をグランドゴルフにも使用できるように改修する。

危機管理対策費、消耗品費追加 90.0万円

三輪議員 内容について

総務課長 各施設、避難所に非接触型体温計及びマスク・消毒剤等を置くもの。

### 可決した条例改正

町特別職の職員で非常勤の職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

・農業委員会委員及び、農地利用最適化推進委員の報酬についての改正で、月額+活動能力給が支給される。加算額については毎年予算の範囲以内で定める。

町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

・特殊作業手当の中に家畜伝染病の一部を加える。

町手数料徴収条例の一部改正

・法律の一部改正によるもの。

町国民健康保険条例の一部改正

・法律の一部改正によるもの。

町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

・傷病手当金の支給に係る申請書提出の受付を町とする。

町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

・法律の一部改正によるもの。

### 陳情

陳情第5号

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の採択に関する陳情」

議決結果 原案可決

陳情第6号

「後期高齢者の医療窓口負担の現状維持を求め意見書」の採択に関する陳情

審査結果 不採択

### 可決された意見書

発議第1号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を要望する為、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する

会計年度任用職員を採用する。

農業振興費 150.0万円

高橋議員 内容について  
産業観光課長 「出雲崎の輝き」が1俵当たり2万円になるように補助金を考えた。

良寛記念館管理費、会計年度任用職員報酬追加 17.6万円

中野議員 内容について

今年度4月から

4月臨時会では町長専決処分による、令和元年度一般会計補正予算、条例の一部改正など議案6件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

**令和元年度一般会計補正予算 (第7号) (専決)**

(▲は減額)

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第7号) (専決)	▲1,142万円	33億7,288万円

主な歳入

- ・子ども・子育て支援臨時交付金.....▲496万円
- ・地方交付税.....3,138万円
- ・土地売払収入.....226万円
- ・財政調整基金繰入金.....▲4,160万円

主な歳出

- ・塵芥処理費.....▲419万円
- ・し尿処理費.....▲183万円
- ・町民有林造林事業補助金追加.....107万円
- ・道路維持費 (除雪) .....▲810万円

**令和2年度一般会計補正予算 (第1号)**

(▲は減額)

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第1号)	5億655万円	38億1,855万円

主な歳入

- ・特別定額給付金給付事業費補助金  
.....4億4,127万円
- ・財政調整基金繰入金追加.....6,527万円

主な歳出

- ・特別定額給付金事業費.....4億4,127万円
- ・町定額支援金.....4,350万円
- ・町子育て世帯応援支援金.....1,000万円
- ・商工業振興費.....1,137万円

※金額は千円未満は切り捨て

**承認した条例改正 (専決)**

- ◆**町税条例等の一部改正**.....地方税法等の一部改正によるもの。(起立全員で可決)
- ◆**町国民健康保険税条例の一部改正**.....地方税法施行令等の一部改正によるもの。(起立全員で可決)
- ◆**町介護保険条例の一部改正**.....介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等の一部改正によるもの。(起立全員で可決)

**承認した条例改正**

◆**町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正**

令和2年5月1日から同年5月31日までの間、町長の給料月額については第2条の規定にかかわらず、同条の規定により支給されることとなる額からその額の10分の10に相当する額を減じた額とするもの。

(賛成6、反対3 起立多数で可決)

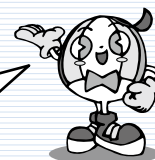
**令和3年 町議会議員選挙が変わります！**



何が変わるの？

供託金が導入されるとともに、条例により、次のものが公費で実施できます。

- ①選挙用自動車の使用
  - ②選挙運動用ビラの作成
  - ③選挙運動用ポスターの作成
- 選挙におけるビラ頒布も解禁となります。



供託金について詳しく教えて

選挙の候補者が選挙管理委員会に預けるお金です。町議会議員選挙は15万円です。選挙後に返還されますが、一定の得票数以下だと没収されることになります。



# 出雲崎小学校6年生が6月定例会を傍聴

6月定例会初日の6月19日、社会科の学習で、出雲崎小学校の6年生が議会の傍聴に来てくれました。傍聴後に感想を寄せてくれましたので、一部、ご紹介します。

議員の「異議なし！」がかっこよかったです。学べたことが書ききれません。面白かったです。

人数は少なかったけれど、一人一人が町のために意見を出し合い、がんばっていますすごいなと思いました。僕も議員になれば、活かしていきたいと思います。

議会に参加できる人数や話し合いの進め方、案の決定の仕方など、学ぶことがたくさんあって良かったです。

町のために議員さんが話し合っていることを知りませんでした。ほとんど何を言っているのかわからなかったけど、頑張っていることが伝わってきました。議会の仕組みもわかりました。

町長が全部やっていると思っていたけれど、議長や議員、課長がいて出雲崎町のことが決まっていると知ってびっくりしました。

すべてをまとめているのは、町長だけではないことや議案に番号があることがわかりました。難しくてよくわからない会話もあったけど、しっかりついていける議員さんを尊敬しました。

議会の人がとても出雲崎のために取り組んでいることがわかりました。たくさんの方が協力して出雲崎を支えてくれていることがわかりました。

たくさんの案を出して、みんなが納得して町を動かすことが大切だとわかりました。

議会でやってはならないことや良い町にするための話し合いなど、実際にやっていることが知れて、出雲崎にいて良かったと思いました。

町のために真剣に考えているのが伝わってきました。町をより良くするために、たくさんの議題について話し合ってくれているから、安全で楽しく暮らせるのだと思います。私は将来、町や人のためにできることをやれたらいいなと思いました。

素敵な感想をありがとうございました。

皆さんは出雲崎町の宝です。

将来、この出雲崎町をつくり、伝えていく人になってください。

29	24	23	22	19	15	6	5	28	27	23	15	9	4	2
新潟県町村議会議長 会第1回臨時総会 (新潟市)	全員協議会	↓詳細はp8~13	議会運営委員会 定例会最終日	↓詳細はp2~3	議会報特別委員会 (議会だより第108号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)	議会報特別委員会 (議会だより第107号)

議会のつづき (主なもの)

令和2年4月~6月

# 全員協議会

主なものから  
抜粋して掲載しています

第4回 4月23日(木)

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**加藤議員** 不要不急の外出について、首長自らが防災無線による広報で、強く協力を求めているどうか。また、新型コロナウイルスに対応した防護備品は確保しているのか。町の備蓄マスクは1万枚あるが、全て放出してもらいたい。町独自の支援を行うべきと考える。

**総務課長** これまで備蓄マスク、消毒剤等を小・中学校・医療福祉機関に配布した。第一弾として、子育て世帯応援支援金を子ども一人あたり2万円、保護者に給付する。国が行う特別給付金10万円に加えて、全ての町民に1万円を支給する。

また、商工業者に対し、上限10万円で事業継続支援給付金を支給する。  
**マスクについて**、今の在庫数では全町民にお配りすることは難しいが、検討したい。  
広報については、町長の考えを伝えるには、紙面で正確に伝える方がよいと考え、今回臨時号

を発行する。

**高橋議員** 飲食業にはテイクアウトに対する助成ができないか。奨学金を貸与している町外の生徒に配慮をして欲しい。  
第二弾、第三弾を期待するが、町長の考えを伺う。

**町長** 第一弾の施策は全国でも珍しい。全町民・子育て世代・商工業者を重点的に支援するものである。  
その後における問題は、今後の推移を見ながら、状況を判断しながら対応していく。

**小黒議員** 給付金は、世帯主に給付することとなっているが、DV被害者や離婚調停中の方々に対してはどのように支給するのか。

**総務課長** DV関係については、全国統一で避難している市町村が支給するよう通知がきており、適正に対応する。

**中野議員** 町商工会員でない事業者への支援はどう考えるか。

**産業観光課長** 支援策は、売上げが減少した方への支援であり、商工会員でない方も対象となる。

**高島議員** 学校関係の対応や長期休業期間中、動きたい、やることのない状況のなかで子どもたちの対応をどのように考えているか。

**教育長** 学校も教育委員会も訓練の場として警戒心・緊張感を持つて対応をしている。子どもへの安全確保のために家庭の協力を得ることが非常に大事である。学校・生徒の安全確保のために衛生管理を見直し、学校には具体性を持って一層徹底を図っている。

**中川議員** 町は財調を持っていくのだから予算規模を増やしても良いのではないか。  
第二弾、第三弾はどのように考えるか。

**町長** 総合的に判断し、商工会と十分に打合せをし、第二弾、第三弾を考えていく。

### 他に協議された項目

●ふるさと交流広場の整備について  
●出雲崎町農業委員会の「農業委員」及び「農地利用最適化推進委員」の募集結果について

第5回 5月14日(木)

## 新型コロナウイルス感染症について町の対応

**総務課長** 町内全世帯に不織布マスクを1箱ずつ配布する事業を行う。

**産業観光課長** 食料品等を購入する際に半額を町から補助する半額フェアを実施する。

**保健福祉課長** ひとり親家庭等について、受給者1人当たり1万円、対象児童1人当たり2万円を応援支援金として支給する。

**加藤議員** 避難所における感染症対策について、パーテーションは設置するのか。町に製紙業者があるので段ボール等で制作してはどうか。

**総務課長** 避難所5か所に加えて1か所ふれあいの里を追加し、発熱等の症状がある方を受け入れる。パーテーションで仕切ることは、有効であると思う。

**三輪議員** 町が一括購入したマスクを原価に近い価格で販売することはできないか。

**総務課長** 需給状況を勘案しながら、必要があればその段階で検討を行う。

**安達議員** 小・中学校の臨時休校が長引いており、授業時間の確保をどのように考えるか。

**教育長** 補充を特に長期休業中に消化しなければならぬことは必然である。できる限り年度内に、十分に精査しながら今後の補充の体制を考えていく。

**中野議員** 事業継続支援給付金について、町長は2回目以降もあると答弁したが、2回目以降の支給はないのか。  
**町長** 事業継続支援給付金についても、今後の給付金の使われ方や推移を見ながら検討していく。

**産業観光課長** 町としては、飲食業の方への支援を第二弾として話をさせていただいたが、今後、第三弾として宿泊キャンペーンを考えている。

### 新型コロナウイルス感染症拡大に関わる学生等への支援策について

**高橋議員** 奨学金を貸与している学生への支援として現金給付や出雲崎産の現物支給を考えられないか。

**教育課長** 町の無利子の奨学金を追加募集したいと思っている。

**町長** 町はできる限りの支援をしたい。国の支援の状況を見極めながら町実態に則した中で対

応しなければならぬ。

### 他に協議された項目

●デマンド交通の運営状況について

●地方税制改正に伴う条例の一部改正の主な内容について

## 第6回 6月9日(火)

### 新型コロナウイルス感染症対策について

総務課長 5月18日から通常登校・授業を行っているが、授業時間を確保するために夏休みは短縮して行う。

全町民に対する支援について、町民1人当たり5千円の商品券を配布する。年齢が75歳以上の方で敬老会対象者になっている方には、さらに2千円を追加してお届けする。

大学生等について、「学びの継続」応援支援金として1人5万円を支給する。

諸橋議員 避難所における段ボールの間仕切りについて、検討はどうか。

総務課長 現在、町内の工場と話を進めており、既に試作品もあがってきている。今年度中に町と事業所の間で協定書を締結するように進めていく。

中川議員 夏のイベントは全て

中止である。半額フェアも6月で終わり、7月8月は全く冷え込む。どう対策していくか。

小林町長 我々が行動を起こさなければ、町民の皆さんに流れを感じ取ってもらわなければならぬ。国もGOTOトラベルキャンペーンを実施するので、自治体としてどのような対応をするのか検討する。

### 越後出雲崎天領の里運営状況について

産業観光課長 コロナの影響で、売上げが大きく落ち込んでいる。本社から、テイクアウトは出来ない規制がかかり、半額フェアに参加しなかった。町の核となる観光施設であり、今後の状況を注視し、何らかの応援も必要ではないかと考える。

### GIGAスクール構想について

教育課長 子どもたちにこれらの社会に必要な力、ICT活用を身につけさせたいという国の考えから、児童・生徒に一人一台の端末を配備するため、校内も高速大容量の通信ネットワーク環境と合わせて一体的に整備するものである。

加藤議員 先生が対応できるのか。

いつを目安に実施する予定か。

小黒議員・高桑議員 緊急時、自宅でリモート教育を受ける事も考慮していると思うが、各家庭でネット環境は異なるので、対応を考えてもらいたい。

中川議員 機器が揃うならば、早急に進めてもらいたい。

教育長・教育課長 教師がスムーズに教えられるようサポーターを配置する。

インターネット環境が無い家庭については、簡易型のポケットWi-Fiを町で購入し、貸与することを考えている。

町としても一刻も早く導入し、構想のメリットが出せるように、色々な人材を活用して取り組んでいく。

## 第7回 6月24日(水)

### コロナ禍に伴う支援策と問題点について

高橋議員 第一・第二弾の当町支援策については大きな反響があった。これからの支援策は、より大きなダメージを受けている方々を支援していくべき。今後の施策としてはどのように考えるか。

総務課長 すべての町民が生活

上の困難を極めているという認識で、各支援策についてスピード感をもって進めている。これからが正念場と思う。特別な支援が必要な方々についても行き届くような支援を考えていきたい。

高橋議員 花火は昔から悪疫退散の意味ある。町民の士気を鼓舞するために、海岸と西越両地域で打ち上げてはどうか。また、有志で行うとしたら応援いただけるか。

町長 船まつりの花火大会を中止しており、町として花火を打ち上げない。有志で実行していただくのであれば、お願いしたい。

総務課長 大字相田の旧航空レーダー基地の跡地について、株式会社新エネルギー総合研究所に貸し付け、風力発電の可能性を調査していたが、調査を終了するとの報告があり、本年7月末をもって賃貸借を終了する。

### 地域おこし協力隊の着任について

総務課長 二人目の地域協力隊員として、7月1日付けで石坂優さんが着任する。関東でブックコーディネーターをされている。居住は舩太さんの2階とす

る。

小黒議員 西越地域に居住されることも今後検討いただきたい。

### 海水浴シーズンに向け海浜の整備と事故防止について

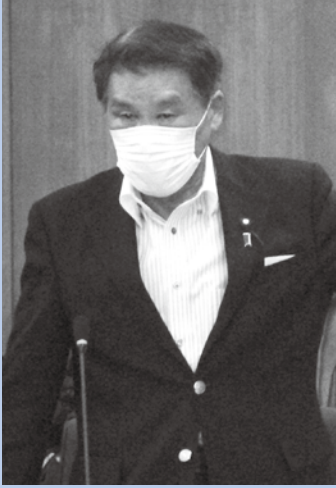
加藤議員 これからのシーズン、町外者の来町が増える。三密を避ける意味で、旗等で混み具合を表示してはどうか。また、流木に火を付ける事例が発生している。事故防止対応を徹底してもらいたい。

産業観光課長 昨年度末までに国・県からも予算の追加を受け、危険な流木等を最優先に清掃を実施した。今年度も海開き前までに清掃を完了する予定である。また、ボランティアとサポートセンターから清掃活動をしていただいている。混み具合の表示は注意喚起を行うが、近隣の状況をみながら対応したい。事故防止については警察や消防と連携しており、今後も注意して対応したい。



1

加藤 修三 議員



質問項目

1. 第2波に備えた新型コロナウイルス感染対策と持続的な経済対策

🔍 9ページ

2

高橋 速円 議員



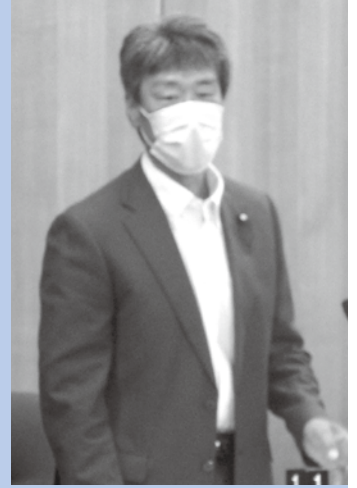
質問項目

1. 緊急事態時の庁舎機能維持について

🔍 10ページ

3

小黒 博泰 議員



質問項目

1. 今後のイベント、行事の計画と実施について

🔍 11ページ

# 一般質問 ~町政を問う~



4

諸橋 和史 議員



質問項目

1. コロナ禍の出雲崎町のために

🔍 12ページ

5

三輪 正 議員



質問項目

1. 避難所の新型コロナウイルス感染症対策について
2. 高齢者の補聴器購入助成を

🔍 13ページ



加藤 修三 議員

## 第2波に備えた新型コロナウイルス感染症対策と持続的な経済対策

町長

### 医療体制の強化で 住民の安全、安心の確保

新型コロナウイルス感染症の集団発生の問題点の洗い出しと対応は万全だったか。

加藤 都会で感染症が拡大してる中、親の介護で東京から帰省の男性が卓球教室に参加しクラスターが発生したり、特定の企業では、徹底した自粛などがさげず数人の感染者が出た中、感染拡大の問題点の洗い出しと対応について伺う。

感染者の早期発見と隔離、治療等積極的に対応し大規模感染拡大を抑えた

町長 県内では83名が感染したが、死亡者ゼロで医療機関による感染者の早期発見隔離と染者のルート割り出しで大規模感染を抑えられ、専門的に発熱外来を各保健所管内に設置する取り組みもう既に行っている。

2波に備え、町民の健康と命を守るための体制は磐石か

加藤 県内の新型コロナウイルス感染症の勢いは無くなってきたが、韓国や中国では集団感染が発生し、世界中で15万人以上が感染し、新たな危険段階に入ったと警戒感を強めておる中、これから来る恐れのある2波に対し町民の健康と命を守る体制は磐石かを伺う。

感染症に対する正しい情報をわかりやすく伝え、自分の身を正しい知識で守ることを基本にしながら進める

町長 2波に備えて国や県基本的な対処方針が示されているが、気を緩めることなく新しい生活様式を定着させ、感染症に対する正しい情報で拡大防止の配慮と行動で対応していく。

## 持続的な経済の活性化

町長

### ピンチをチャンスと捉え新しい視点での経済活動

持続的な町経済の活気維持の次の手は打っているか

加藤 新型コロナウイルス感染症で町独自の支援で町民の不安を和らげみんなヨカッタと喜んでおり町の雰囲気が一気に明るくなった。都道府県の往来も全面解除した中、この経済の活性化を維持する考えを伺う。

ピンチをチャンスと捉えいろいろな方策を考えていきたい

町長 当町は観光が主軸をなすわけですが、船まつ

りなど中止した。一人でも多く当町においていただけよう皆さんの意見を聞きながら、ピンチをチャンスに新しい視点でいろいろな面に対応してまいりたい。

コロナウイルス感染で大打撃を受けてる漁業者へ支援はできないか

加藤 高級魚のタイやヒラメ等の価格が、浜値で大暴落し、漁が出来ない状況の中、後継者維持のためにも町独自の支援が必要と考える。

実態を把握し対応してまいりたい

町長 私も大打撃を受けていることに心を痛めており、実態を把握しながら、町ありきの対応をしなければと思っている。



高級魚タイなど魚価の暴落



# 緊急事態が発生したとき、庁舎機能はどう維持されるのか？



高橋 速円 議員

町長

## 業務継続計画を示している

高橋

役場庁舎機能を中

### ネット環境の整備を急げ

町長 業務継続計画の大綱を防災計画にも示し、総合行政システム、戸籍システムなど、役場と中央公民館をネットワークで繋げて対応するよう検討している。

### 防災計画に示している

高橋 三月定例会でも質問したが、TKBというところがある。Tは衛生的なトイレ、Kはアレルギーに配慮した温かい調理・キッチン、Bは段ボールベッド。避難所ではこの三つの改善が今の常識とされている。いつ襲ってくるかわからない複合災害、今回の新型コロナウイルス感染症対策も含めて深刻な状況が想定される。その時に肝心な頭脳である庁舎機能をどう維持するか。いろいろな場面が想定されるが、どう対策しているか。

高橋 三月定例会でも質問したが、TKBというところがある。Tは衛生的なトイレ、Kはアレルギーに配慮した温かい調理・キッチン、Bは段ボールベッド。避難所ではこの三つの改善が今の常識とされている。

高橋

役場庁舎機能を中

### 非常時の住民対応が肝要だ

町長 真価を問われるのは非常時だ。迅速に確実にしかも安全を確保する。

### 確認！中央公民館は完璧？

高橋 確認すると、中央公民館は完璧だと。こういうことでよろしいか。ふれあいの里も避難所になったことで整備を急ぐ必要がある。

高橋 確認すると、中央公民館は完璧だと。こういうことでよろしいか。ふれあいの里も避難所になったことで整備を急ぐ必要がある。

高橋

岩手県知事が県民

### コロナ禍にあつて「私は第一号を責めません」とメッセージ出すべきだ

町長 自助、共助、公助が基本だが、共助、公助は限界だ。究極は自助、自らの命は自ら守るだ。

### 共助、公助はもう限界だ

高橋 大災害を経験した首長がまとめた、所謂「トップがなすべき24ヶ条」に「行政にも限界があることを日頃から率直に住民に伝え、自らの命は自らの判断で自ら守る覚悟を求めておく」とある。対話、普段からの対話が大事だ。

高橋 大災害を経験した首長がまとめた、所謂「トップがなすべき24ヶ条」に「行政にも限界があることを日頃から率直に住民に伝え、自らの命は自らの判断で自ら守る覚悟を求めておく」とある。対話、普段からの対話が大事だ。

高橋

岩手県知事が県民

### 学生の皆さんにはメッセージを付けた

町長 学生の皆さんには商品券を、元気を出して頑張れとメッセージを添えてお届けした。

### 学生の皆さんにはメッセージを付けた

町長 学生の皆さんには商品券を、元気を出して頑張れとメッセージを添えてお届けした。



「中央公民館、多世代交流館・きらり」のネット環境整備を急げ！

# 今後のイベント、行事の計画と実施について



小黒 博泰 議員

町長

## できる限り予定通り行うべき

### 町独自の対策案は

**小黒** 昨年9月定例会でも今後のイベント計画、実施について質問したが、現在は新型コロナウイルスの影響でイベント、行事のほとんどが中止・延期になっている。

感染予防対策として仕方がない事だが、収束の方向に向かいつつあるなかで、国、県の予防対策ガイドラインに従えば、この先も規制が続くものと考える。今後のイベント、行事などを開催するにあたって、町独自の対策案はあるか伺う。

### 自身で健康管理を

**町長** 大きなイベントは中止になり復活は無理だが、今後の行事はできる限り、予定通り行うべきと考える。そこにおける対応は、非接触型体温計なりの対策をとり、皆さんから十分理解していただいて、健康状態をチェックしながら参加してもらう方法に対応していく必要があると考える。基本的には、町民の皆さんから自分の健康を管理してもらい、体力と免疫力をつけ対応することが一番大事な要素だと考える。

**小黒** 健康が第一は十分わかるが、今後のイベント・行事の規制や対策案の基準を設けなければ、先に進まないと考ええる。基準を作成し、公表する考えはあるか伺う。

**町長** 今後の行事はどうなるのか懸念があると思う。今後はできる限り実施する方向の中で、改めて対応を示す必要があると考える。

### 実施の考えは

**小黒** 今後の行事について、感染予防対策をやった上で実施する考えがあるか伺う。

### できるだけ実施したい

**町長** 緩和したガイドラインからすれば、どんな行事もできる。新しい生活様式を厳守しながら行事に参加頂く様に、町として明確に今後の行事のあり方について、町民各位にお知らせする必要があると考える。町が今後計画している行事は、ほとんどが規制にかからないので、できるだけ進めていきたい。

### 提案① 花火打ち上げ

**小黒** 6月1日に「チアアップ花火プロジェクト」で悪疫退散を祈願して、全国一斉に花火が上がった。今度は、クラウドファンディングにより花火業者を助ける募金を集め、全国で打上げる計画がある。出雲崎煙火工業も参加しているが、小規模でも町で花火を上げられないか。

**町長** 花火大会は中止とした中で、募金も関係機関にもお願いしていない。一人でも大勢の町民の皆さんが集まった企画の中で、お互いに無事を喜び合い頑張ろうとエールを交換し合う場所が必要だと思うが、花火を上げる事に対しては考えてない。



### 提案② イベント開催

**小黒** 船まつりなどイベントは天領の里周辺で行われてきたが、コロナ対策を考えると、集客人数、体温測定などの管理はできないと考える。そこで、「エコパークいずもぎき」は入り口が1か所、入場者数、検温などチェック管理できると考える。エコパーク跡地利用の第一弾として、イベントはできないか。

**町長** 異色な、発想を変えた提案であると思うが、埋立地でイベントをして集客を考えると、大きな課題もあり、環境事業団との関係もある。

一人でも大勢の皆さんが集まり、笑いや安堵を感じる行事をしたい。気軽に老若男女の皆さんが集まるような場所を選定しながらやるべきと思う。エコパークで行事は今のところ考えていない。

**小黒** 誰でも自由には理想であるが、この状況下では無理である。先の事は誰もわからない。対策をしっかりとった中で、町の観光、経済等につながる、少しでも前進できる施策を考えて頂きたい。

# コロナ禍の出雲崎町のために



諸橋 和史 議員

町長

## 移住支援対応はやっていく

町長 町は平常時、恒久的にいろいろな対策をとっている。移住・定住支援サイトを開設して空き家バンクのリニューアル、移住相談会の参加等、今年度から東京、神奈川、千葉、埼玉に在住して、東京23区に通勤している方が出雲崎に移住した場合、移住支援金を交付事業も実施、新たな法律として特定地域づくり事業も実施、新たな法律として特定地域づくり事業推進法を施行して、過疎地域の人材確保を支援する制度も創設された。制度を充分研究しながら関東圏なり、いろいろ皆さんのUターン

諸橋 今世界中が新型コロナウイルスにより、ウイルスに戦々恐々としている。経済・教育・人の流れが大きく変わろうとしている。再度Uターン、Uターンの受皿を考えて行き、今在宅勤務の浸透でUターンを考える人が増えて、当町の空き家対策に通じると思う。町長に伺う。

諸橋 私自身も遅れている。若い世代はリモートで物事をやる事に全く違和感なくやっている。仕事自体も進んでいくと思う。また、テレワークのアンケートでは、やったことのある人は60〜65%、そのうち30%の人が地方に住みたいと考えている。Uターン

町長 企業の対応も果たしてうまくいくのかどうか、私は対面で意見交換をした方がよい。ただし、そういう流れは出ている。そういう点に対する整備は進める考えである。

諸橋 12月議会でも話した、デュアルライフ（二拠点生活）今オンライン出勤、リモート通信等企業に勤めながら田舎暮らしができる。出雲崎の中で拠点化するには通信の問題が難点があると思う。Uターン空き家対策に再度踏み込んだ考えはないか伺う。

を促進していく。

町長 当町はNTTの光回線は全部整備されている。各家庭でつなげば町内

を受け入れるために、ケーブルテレビ、光通信、Wi-Fi等の整備を行っていくのか伺う。

どこでもテレワークは可能である。ケーブルテレビはこれ以上の計画は無い。個々別々のケースバイケースで対応していきたい。Wi-Fiの中で端末も入れて頑張りたいという人に積極的に対応したいと考えている。



リモート通信



三輪 正 議員

# 避難所の感染症対策を

## 対策に全力で当たる

町長

**三輪** 新型コロナウイルス感染症対策として、避難所の過密を抑える対策が急務となっている。避難所での「3密」対策など町の対応を伺う。

**町長** 十分なスペースの確保と発熱やせき等の症状の方々の避難所の追加、非接触型体温計60個、マスク等用意した。ふれあいの里は個室で対応、医療機関と連携を取る体制である。

### 避難所開設に地域、関係機関の協力体制を

**三輪** 避難所が増えると町職員だけでは不足となり、町外通勤者も多い。地域や関係機関の協力が必要である。事前に打ち合わせや訓練が必要と考えるが。

**町長** 要員の確保については職員だけでなく、平時、皆さんとの連携を密にしていきたい。

### 避難所入口に表示看板を

**三輪** 津波、大雨など災害の状況によって避難所の使用が変わる。上越市、弥彦村などでは避難所の入口に災害別の開設や海拔が表示され、普段から住民に分かるようになっていく。

当町ではハザードマップが配布され避難所情報が掲載されているが、高齢者には分かりにくい。説明会が必要と考えるが。

**町長** 災害により状況が変わるので、広報等周知を徹底に努める。表示看板は大事だと考える。

### 「ふれあいの里」裏のため池の安全対策を

**三輪** 避難所として最適な施設であるが、裏のため池は町内最大であり、過去災害も発生している。防災重点のため池でもある。堤防の強化と大雨対策について伺う。

**町長** ふれあいの里管理者には大雨時、しっかりと状況を見守り、状況によっては直ちに避難するように指示してある。池は道路と護岸堤防と二重になっており、池の水量も「一定以上貯めるな」と指示してある。



ため池（渡内池）の防災対策を（大門）

## 高齢者の補聴器購入助成を

### 国や県内の動向を注視し 検討を進める

町長

**三輪** 加齢による難聴のため相手との会話がうまくいかない。引きこもりや認知症になりやすいなどの弊害が出ている。

県内では刈羽村、聖籠町、三条市などが助成を実施している。高齢者の多い当町は困っている人も多い。補聴器は高価であり、高齢者の生活、地域の活動維持のため是非とも助成を

考えるべきである。

**町長** 県内では昨年、日本耳鼻咽喉科学会新潟県地域部会より認知症やうつ病の予防になる補聴器助成の提言があった。国でも補聴器の予防効果を検証研究中である。当町は国や県、各市町村の状況を注視しながら検討していく。

# 7/7 議会×議会モニター | 意見交換会



南波久敏さん 島明日香さん 遠藤敬子さん 佐藤光代さん 金子俊治さん

ご参加いただいた第3期議会モニターの皆さん



モニターの皆さんからのご意見

## 一般質問について

時代に則した鋭い質問もあり、毎回楽しみである。質問内容が、枝葉に分かれていき、本来の質問との違和感を持つことがあった。表現が甘く、伝わりにくい部分もあり、全体的にもう一押しが欲しい。

## 全員協議会について

事前通告によって、分かりやすくなった。根拠がなく、思いつきのままでは意見が伝わらない。対案を持って臨んでもらいたい。

## 議会改革を進めるために

議員の勉強会やサロン議会はとても良いことだと思う。行政の現状を知り、町民の声を結びつけて欲しい。

## 議会だよりを読んで

写真やグラフを使い工夫されていて、以前より大変見やすくなり、毎回楽しみである。2色刷りだが、現在の青色よりも緑色の方が見やすいのではないかな。

## 議会モニターについて

人数を増やすということだが、ただ募集するだけでは集まらない。議会に関心を持ってもらうためにも、「意見を聞きたい」と目的を持って各種団体から、参加いただくのが良いと思う。また、議会のきまりやしきみは難しいので、モニターには最初に教えて欲しい。

皆様のご意見を今後活かして参ります。ありがとうございました。  
令和2年9月10日からは新たに議会モニターの任期が始まります。  
募集について、詳しくは、7月の回覧文書及び広報いずもさき8月号をご覧ください。  
皆様に関心を持っていただけたら嬉しいです。

## 表紙の小話

七夕を前にした日曜日、歴史や五郎兵衛で、近くの子どもたちが手伝ってくれて、素敵な七夕飾りが出来ました。

折しも、九州熊本県の豪雨災害、東京都や全国でコロナウイルス感染者がじわじわと増えている等のニュースが報じられている日でした。

子どもたちは、こんなにいっぱい願い事して大丈夫かな、いやいや、願わなきゃ叶わないからと言いながら、頑張って作ってくれました。

「コロナがおさまりますように」「川があふれ出ませんように」「来年こそは祭りができますように」

「平和に暮らせませすように」そして、

「みんなの願い事が叶いますように(わたしのもの)」

きつと叶うから…。短冊が風に揺れていました。

(高桑佳子)



## 編集後記

6月定例会の補正予算は、主に新型コロナウイルス対策が主な内容でした。

この感染症により、経済への影響が長期化する懸念が強いと思われまます。当町も、コロナとの共存を前提に、新しい生活様式を守りながら、町の活性化を推し進めていかなければなりません。

議会での会議も、密閉、密集、密接は避けて通れないと思いますが、困難な問題がある時こそ、町民の皆さんと共に議員全員が力を発揮しなければなりません。町民と共に歩む議員として、これからも議員全員が質の高い議会を目指して、努力、研鑽して参ります。

議会だよりは、町民の皆さんとの架け橋の役割があると思いますのでご協力、ご支援をお願いいたします。

(中野勝正)

### 議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 安達一雄
- 委員 中野勝正
- 委員 三輪正
- 委員 小黒博泰

議会だより発行予定 発行は年4回。発行日は4月23日・7月25日・10月23日・1月23日です。 議会の傍聴にぜひおいでください。